

4 安全で信頼性、機能性が高い食品・農産物供給のための評価・管理技術の開発

1 趣旨

農産物の国際流通が加速化され、食品成分や原産地表示等の安全・信頼性について消費者の関心が高まる中、高度な製造プロセスやチェック体制等、農場から食卓まで一貫した食の安全・信頼性の確保が求められている。また、少子高齢化や生活習慣病の増加を背景として、国民の健康に対する関心も高く、消費者からは健康に良く安全な食品・農産物が、生産者からはこれらのニーズを踏まえた高付加価値の農産物の生産について関心が高まっている。

そこで、国産農水産物の安全と信頼性の確保による需要促進と食事バランスによる健康の維持増進を目的として、安全で信頼性、機能性が高い食品・農産物供給のための評価・管理技術の開発を行う。

2 内容

(1) 食品の安全・信頼を確保するための評価・管理技術の開発

- 1) 生産現場におけるGAPや食品製造現場におけるHCCP等、リスク管理のための取組の高度化や効率化に資する、新たな危害要因制御技術の確立
- 2) 原産地、生産履歴情報、品種・系統等の高度偽装防止技術システムの構築
- 3) 安全性管理の国際化に対応した標準物質の製造技術体系と精度管理システムの構築

(2) 食品・農産物の新たな機能性解析技術の開発

ニュートリゲノミクス（栄養成分応答性遺伝子解析技術）等を活用した丸ごと食品・農産物の総合的な機能性・安全性解析技術の開発

3. 実施主体 独立行政法人、大学、民間

4. 実施期間 平成18年度～平成22年度

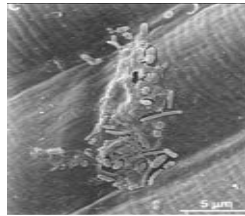
5. 平成18年度概算額 844（0）百万円

（担当課：農林水産技術会議事務局研究開発課）

安全で信頼性、機能性が高い食品・農産物供給のための評価・管理技術の開発

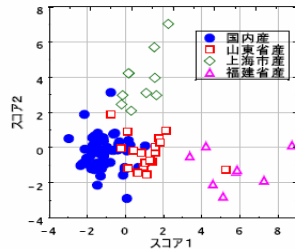
(1) 食品の安全・信頼を確保するための評価・管理技術の開発

①生産現場におけるGAPや食品製造現場におけるHACCP等、リスク管理のための取組の高度化や効率化に資する、新たな危害要因制御技術の確立



バイオフィルム制御
(多糖類に包まれた微生物は殺菌しにくい)

②原産地、生産履歴情報、品種・系統等、高度偽装防止技術システムの構築

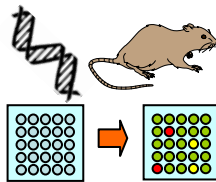


原産地判別

③安全性管理の国際化に対応した標準物質の製造技術体系と精度管理システムの構築

(2) 食品・農産物の新たな機能性解析技術の開発

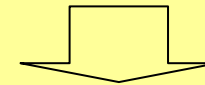
ニュートリゲノミクス等を活用した丸ごと食品・農産物の総合的な機能性・安全性解析技術の開発



ニュートリゲノミクス
(栄養成分応答性遺伝子解析技術)

食の安全・健全な食生活に対する関心の高まり

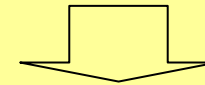
- 生産者は、高付加価値の農産物を作りたい。
- 消費者は、おいしくて、健康に良い食品・農産物を求めている。



農場から食卓まで一貫して食の安全を確保し、消費者の信頼を回復するとともに、健全な食生活を実現するための食品および農産物が求められている。

期待されるアウトカム

- 食品および農産物の安全・信頼性の確保および信頼性の高い機能性食品・農産物指標の提供。
- 育種目標として研究に取り組む(ブランドニッポン等)。



食事バランスによる健康の維持増進	安全な食品の提供	偽装表示の抑止	消費者が安心して食品を購入
------------------	----------	---------	---------------

- 独自技術による国産農水産物の安全、安心と優位性の確保による需要の促進。